

第60期 株主通信

2021年4月1日～2022年3月31日



おいしいものを手軽に
提供できる技術を世界中に

RHEON[®]

レオン自動機株式会社
RHEON AUTOMATIC MACHINERY CO., LTD.

証券コード 6272

原材料費高騰が省人化・省力化への投資を促し、当社機械の販売は堅調に推移しました。

株主の皆様には、日頃より、当社グループの事業活動・企業活動に格別のご理解・ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループは、創業の精神「存在理由のある企業たらん」を忘れることなく、食品成形技術のパイオニアとして、世界の食のニーズにお応えするとともに、食文化の継承と発展に貢献しております。

ここに第60期(2022年3月期)の営業の状況をご報告するとともに、今後の取り組みについてご説明いたします。

代表取締役社長

小林 幹央



Q

当期(2022年3月期)の業績の概要をお聞かせください。

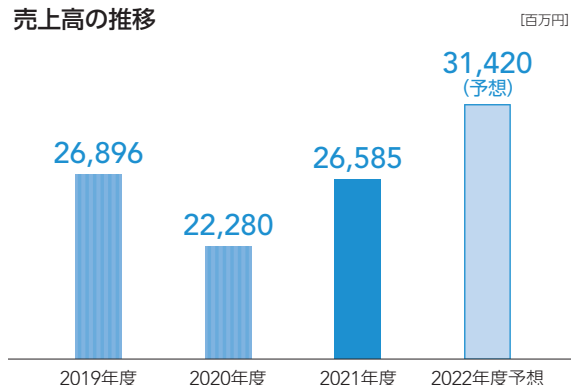
A

各地域の設備投資需要が回復したことにより対前期比で増収となったものの、材料費の高騰などが逆風となり減益となりました。

当期の営業状況については、国内では観光土産物業界や飲食業界向けはコロナ禍の影響により厳しい状況が続きました。コンビニエンスストアやスーパーマーケット向けでは家庭内飲食が浸透したこともあり堅調に推移しました。また、欧米では経済の回復基調が見られたことから、こちらも堅調に推移しました。アジアは、特に東南アジアにおいてコロナ禍による外出規制の影響が強く、伸び悩んだ状況でした。

一方、材料費の高騰による売上原価の増加、荷造運

売上高の推移



搬費の高騰による販売費及び一般管理費の増加が、収益圧迫の大きな要因となりました。

これらの結果、当期における当社グループの連結業績は、対前期比で増収減益となりました。

なお、当社の海外連結子会社オレンジベーカーリーにおける不適切な会計処理の問題につきまして、株主の皆様にご多大なご心配ならびにご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。当該事項につきましては、社内調査委員会、第三者委員会による厳正な調査を実施し、調査報告書ならびに再発防止策を策定し、しかるべき機関に提出しております。当社におきましては、今回の件を厳粛に受け止め、信頼回復に努めてまいります。何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

Q

当期、注力した取り組みやトピックスなどをお聞かせください。

A

基幹システムの浸透、納期短縮への取り組み、ハイブリッド営業などが着実に成果をみせています。

数年前から業務改革に取り組んでおり、一昨年10月に基幹システムを入れ替えました。当期はそれが浸透し、周辺システムの追加も進んでいます。

また、各部署でもコスト削減、納期短縮、品質安定をテーマに業務改革に取り組んでいます。数字など目に見える成果はありませんが、着実に進展していると感

じています。例えば、当社の機械は様々な部品で構成されています。半導体不足が社会問題となっていますが、それ以外の電気部品も供給が不安定でした。そのため競合他社の多くは生産スケジュールに狂いが生じたようですが、当社ももちろん調達に苦労したものの、スケジュール通りに納めることができました。この例などは、納期短縮への取り組みの成果だと思えます。

これは国内外共通にいえることですが、Webでの営業・販促活動を積極的に展開しました。従来の当社の販売方法は、実機テストをリアルに見ていただいて契約につなげるというものでした。本社、営業所、ラボなどで行っていた実機テストを、すべてではありませんが、Webによるリモート講習会という形態に切り替えました。これが想定以上の受注につながり、さらに販売管理コストの削減にも寄与しました。このハイブリッドの販売戦略は、アフターコロナにおいても継続してまいります。

Q 再生可能エネルギー由来電力の導入についてお聞かせください。

A サステナビリティ経営の一環として、CO₂削減を目指して2拠点に導入しました。

創業以来、当社は独自の技術開発で、世界の食文化の継承と発展に貢献するとともに、社会課題や環境問題の解決にも寄与してきました。また、当社はサステナビリティに積極的に取り組んでおり、中でも環境、人材・組織、技術開発、この3つを重点課題と捉えています。再生可能エネルギー由来電力の導入は、このうちの環境問題に通じるもので、カーボンニュートラルやCO₂削減に資する取り組みです。

具体的には、2022年2月より、本社ソリューションセンターと上河内工場の電力を、非化石証書付き再生可能エネルギー由来の電力に切り替えました。これによって、CO₂排出量を年間約1,800t削減できます。

Q 来期(2023年3月期)の展望をお聞かせください。

A 期首の受注残高は過去最高レベルに達していますが、コロナ禍、ロシアのウクライナ侵攻により、先行きは不透明です。

コロナ禍にロシアのウクライナ侵攻という問題が加わりました。特にヨーロッパの一部地域においては、エネルギー価格の急騰や物価上昇が懸念されています。

す。当社の場合、コスト高がお客様の省人化・省力化に向けた投資につながる面もあり、当社機械販売を後押ししてきましたが、今後さらに製造コストが高騰した場合、製品の売値に転嫁できない分、お客様の投資環境に影を落とす可能性があります。

ただし、期首における受注残高は、今までにない程に積み上がっています。これは昨年のコロナ禍が少し沈静化したときの受注なので、ウクライナ侵攻が今後どの程度、販売に影響するかはやはり不透明です。

いずれにしても、当社としては、状況を注視しながら適切に対応してまいります。

Q 最後に、株主様へのメッセージをお願いします。

A 全社一丸となって新たな機械の開発に取り組んでまいります。

来期も引き続き当社の原点である研究開発を推進してまいります。開発のテーマはいたるところにあり、視点を変えれば、それが見えてきます。「全社員が研究開発のテーマを考えていこう」これが来期の方針です。世の中は、基本的には人手不足です。省力化・省人化を進めていかなければなりません。なおかつ当社の機械に求められるのは、食品ロスの軽減、エネルギー消費量の削減です。お客様のニーズ、世の中の要求に応えられる機械を、具現化してまいります。

なお、当期末の配当金は、1株当たり8円とさせていただきます。これにより1株当たりの年間配当金は、中間配当金8円と合わせて16円となりました。

株主の皆様におかれましては、引き続きのご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。



レオン自動機の サステナビリティ Sustainability

当社はサステナビリティ基本方針のもと重点課題として「環境」「人材・組織」「技術開発」を掲げ、持続可能な社会の実現のため、地球環境をはじめとした様々な課題に取り組んでいます。

サステナビリティの重点課題

当社グループの持続可能な企業価値向上

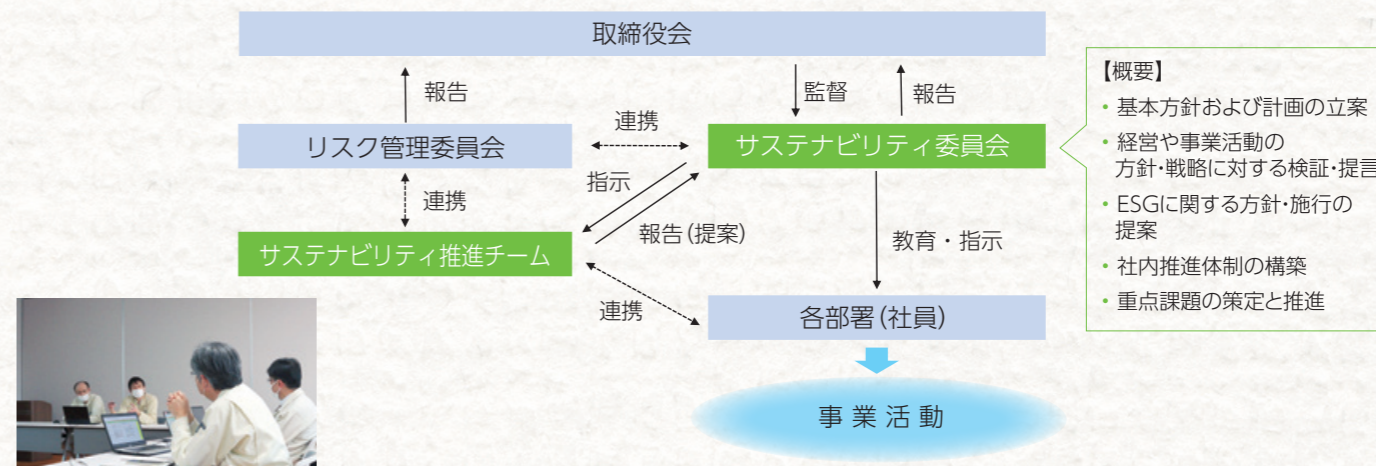


サステナビリティの基本方針

当社は、社是「存在理由のある企業たらん」のもと、当社独自の技術やサービスを通じて全世界の食文化の継承と発展に貢献することで社会課題や環境問題の解決に取り組めます。また、「経営理念」や「行動指針」に基づき適正な企業統治を通して、社会から信頼される企業として持続的な企業価値向上を目指します。

サステナビリティの取り組み

2021年10月に「サステナビリティ委員会」を新たに設置し、ガバナンス体制を強化するとともに、サステナビリティ推進チームを中心に各部署の取りまとめを行い、各課題に対して、目標の設定と具体的な行動計画を策定する取り組みを進めてまいります。



取り組み例.1

再生可能エネルギー由来電力の導入 (本社・上河内工場)

温室効果ガス排出量については、2050年度までに実質ゼロとするカーボンニュートラルを実現することを目指しています。その一環として、2022年2月から本社・上河内工場の電力すべてを東京ガスが提供する非化石証書付き再生可能エネルギー由来の電力にしております。このことにより、年間約1,800tのCO₂が削減される予定です。

東京ガスより発行された非化石証書

取り組み例.2

女性活躍の推進

当社は、一人ひとりの多様な視点や価値観を尊重することが持続的な成長と企業価値向上に重要なことと考えています。まずは、女性の活躍の場を広げるため、2030年度までの目標値を掲げました。

	2020年度 (2021年3月31日時点)	2030年度目標値
女性管理職/全管理職	3%	10%
女性採用/全新卒者	11%	20%
女性/全社員	16%	19%

海外市場情報

当社子会社であるレオンヨーロッパ(ドイツ)より、海外市場情報をお届けします。コロナ禍により、中食産業からの機械需要が増加しており海外でも包あん機が活躍中です。

オランダのお客様

海外向け火星人の新機種であるKN551で、中華まんを生産しています。オランダはインドネシアからの移民が多く、その食文化がオランダにもなじみ、このような製品が定番として、スーパーマーケットで売られています。



セルビアのお客様

KN551が、クノーデルを生産するため24時間フル稼働しています。クノーデルとは、ドイツ料理やオーストリア料理の一種であり、ジャガイモ生地をベースとした製品です。セルビアの食文化では、主食にも甘い食事をする習慣があり、チョコクリームやジャムなどを包あんした製品が食卓に並びます。



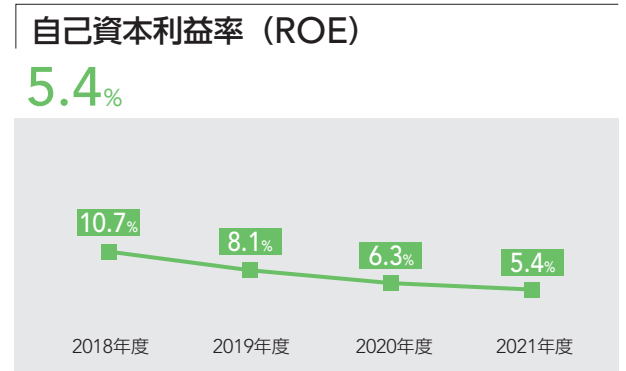
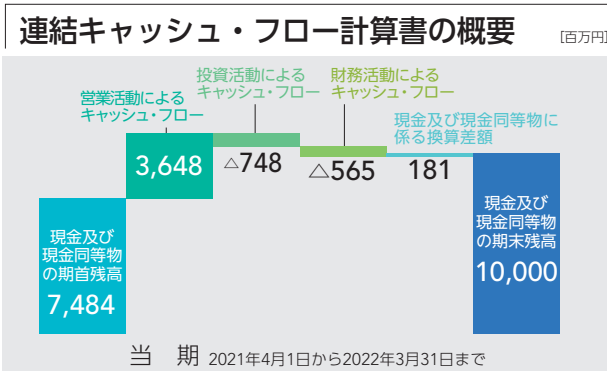
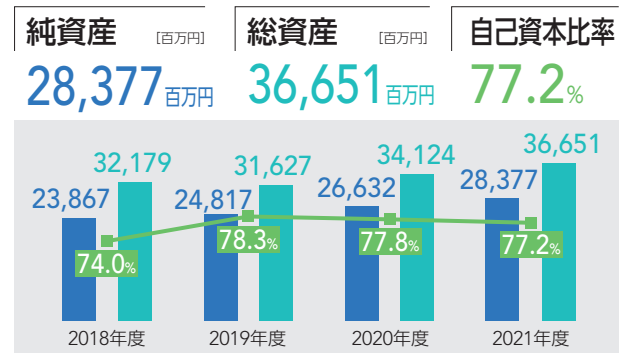
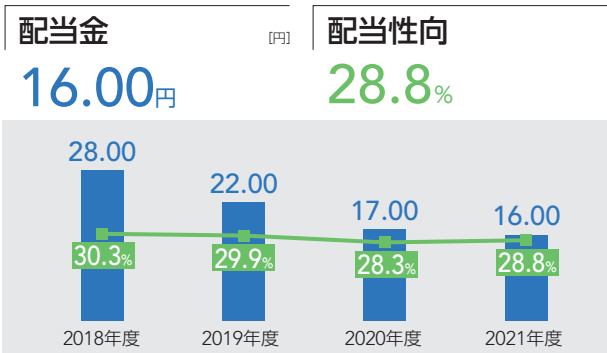
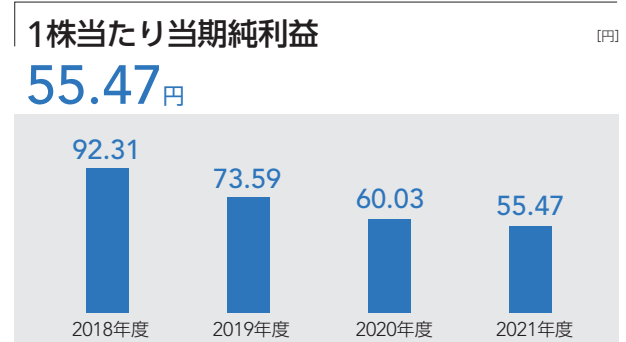
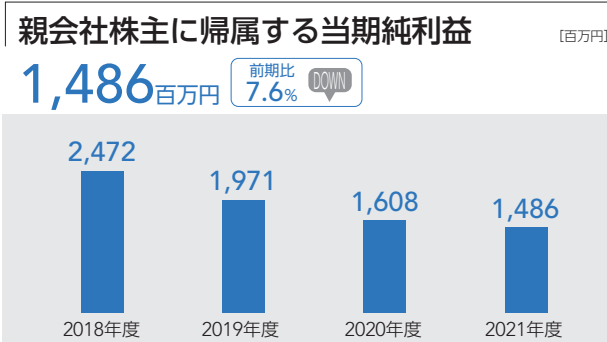
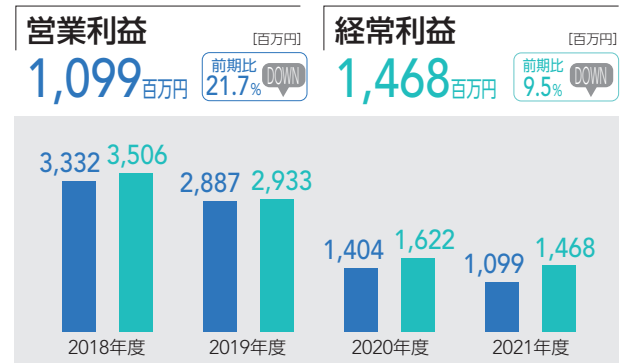
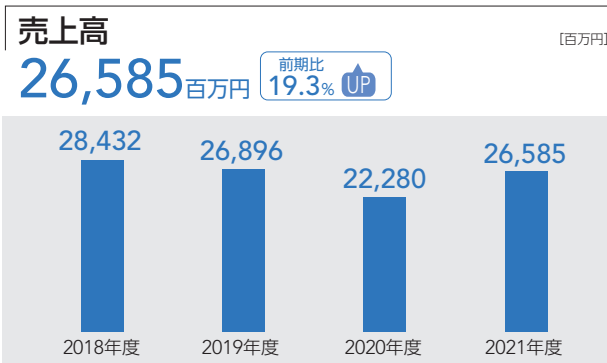
財務ハイライト

国内経済におきましては、ワクチン接種率上昇により一旦は感染者数の減少とコロナ禍収束の兆しが見えたものの、新たな変異株の急拡大により感染者数が再び増加に転じるなど、経済活動や個人消費は一進一退の不安定な状況が続きました。

海外経済におきましては、欧米諸国を中心にワクチン接種の進展によりウィズコロナの経済活動が定着し景気が回復しましたが、中国では変異株の拡大により一度は再開した経済活動に再度厳しい制約がかけられました。

当社グループが市場とする食品業界は、コンビニ・スーパー業界は消費者の新しい生活様式に対応し内食・中食需要を取り込んで堅調に推移しましたが、飲食業界や観光土産物業界は厳しい状況が続きました。また、製菓・製パン業界は、小麦粉やマーガリン等の高騰により製造原価が上昇し、数次にわたる販売価格の値上げが行われました。

このような状況の下で、当連結会計年度における売上高は26,585百万円(前期比19.3%増)、営業利益は1,099百万円(前期比21.7%減)、経常利益は1,468百万円(前期比9.5%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,486百万円(前期比7.6%減)となりました。



セグメント別売上高および売上高の推移

食品加工機械製造販売事業

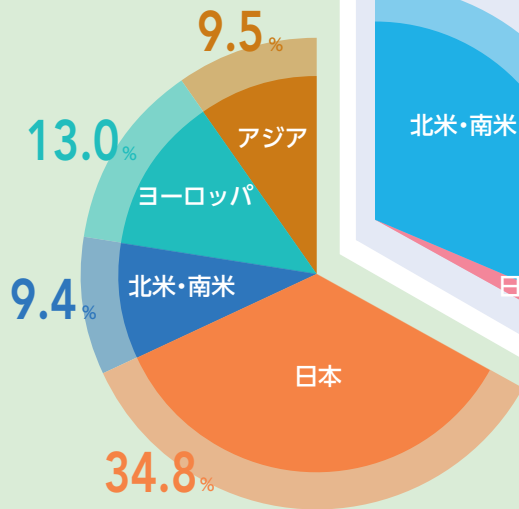
17,728百万円

前期比110.3%

構成比
66.7%

POINT!

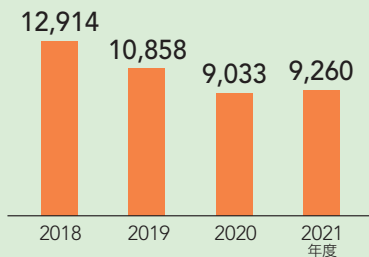
- 日本では食品成形機などの販売が増加
- アメリカでは食品成形機、製パンラインなどの販売が増加
- ヨーロッパでは食品成形機、製パンラインなどの販売が増加



日本

[百万円]

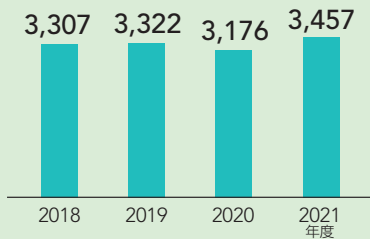
売上高 9,260百万円
セグメント利益 2,326百万円



ヨーロッパ

[百万円]

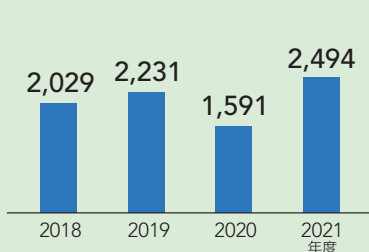
売上高 3,457百万円
セグメント利益 343百万円



北米・南米

[百万円]

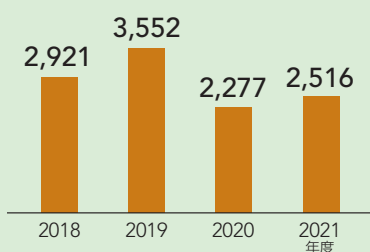
売上高 2,494百万円
セグメント利益 165百万円



アジア

[百万円]

売上高 2,516百万円
セグメント利益 719百万円



食品製造販売事業

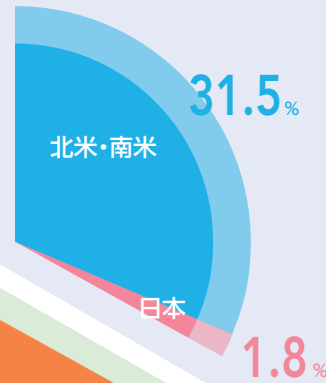
構成比
33.3%

8,856百万円

前期比142.8%

POINT!

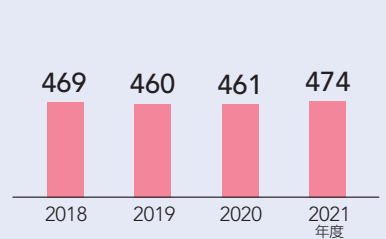
- アメリカのオレンジベーカリーでは、経済活動が回復したことにより販売は増加したが、材料費・運送費の高騰により減益



日本

[百万円]

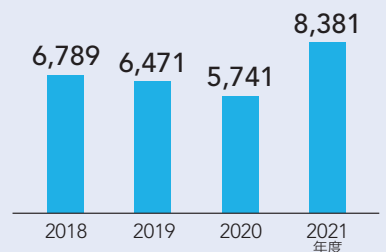
売上高 474百万円
セグメント利益 71百万円



北米・南米

[百万円]

売上高 8,381百万円
セグメント損失 △553百万円



会社情報/株式情報 (2022年3月31日現在)

■ 会社概要

商号 レオン自動機株式会社
RHEON AUTOMATIC MACHINERY CO., LTD.
本社 栃木県宇都宮市野沢町2番地3
設立 1963(昭和38)年3月15日
資本金 7,351,750,000円
従業員 572名

(注) 従業員には契約社員、嘱託社員、パートタイマー、準社員、国内外出向者、台湾支店の現地社員は含まれておりません。

■ 役員

取締役会長	田代康憲
代表取締役社長	小林幹央
取締役常務執行役員	金子保
取締役常務執行役員	大貫和茂
取締役	平原興
取締役	横山薫
常勤監査役	宮岡正
監査役	平林亮子
監査役	横山不二夫

(注) 1. 取締役平原興および取締役横山薫は、社外取締役であります。
2. 監査役平林亮子および監査役横山不二夫は、社外監査役であります。
3. 取締役平原興、取締役横山薫および監査役平林亮子、監査役横山不二夫は、東京証券取引所の定める独立役員であります。

■ 事業所

上河内工場	宇都宮市中里町715番地1 (ISO9001認証取得)
東京営業所	江東区新砂1丁目6番35号 JMFビル東陽町02 1階
札幌出張所	札幌市白石区南郷通20丁目北1番37号
仙台出張所	仙台市泉区八乙女3丁目12番地の1
名古屋営業所	名古屋市名東区社台3丁目32番1号
大阪営業所	吹田市垂水町3丁目25番11号
岡山営業所	岡山市北区上中野2丁目12番18号
福岡営業所	福岡市博多区東那珂1丁目13番15号
台湾支店	台北市内湖區新湖一路118號5樓 台湾
上海駐在員事務所	中華人民共和国上海市長寧区虹橋路1438号 古北国際財富中心2期5階 503-30室

■ 関連会社

■ レオンUSA (アメリカ)	■ レオンヨーロッパ (ドイツ)
■ 株式会社レオンアルミ (日本)	■ オレンジベーカーリー (アメリカ)
■ 有限会社ホシノ天然酵母パン種 (日本)	

「つつむ」「レオンパレード」がデジタル化

季刊誌「つつむ」に続き、広報誌「レオンパレード」もデジタルブック化しております。ぜひご覧ください。

■ つつむ

<https://www.rheon.com/digital/tutumu/>

■ レオンパレード

<https://www.rheon.com/digital/rheonparade/>

※閲覧のみとし、SNS等への掲載はお控えください。



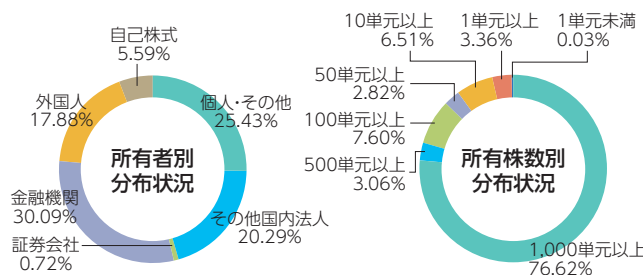
■ 株式の状況

発行可能株式総数	42,800,000株
発行済株式総数	28,392,000株
株主数	6,119名

■ 大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
公益財団法人レオロジー記念財団	3,030	11.3
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3,004	11.2
ラム商事株式会社	1,703	6.4
レオン自動機取引先持株会	1,589	5.9
株式会社足利銀行	1,260	4.7
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	1,154	4.3
レオン自動機従業員持株会	759	2.8
JP MORGAN CHASE BANK 380684	714	2.7
株式会社栃木銀行	680	2.5
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	624	2.3

※ 自己株式1,587,157株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。



■ 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 Tel. 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

【お知らせ】

1. ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
 - 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
 - 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。
2. 配当金計算書について
配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金領収証」により配当金をお受取になれる株主様宛にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受取になった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。

■ 表紙の写真: スーパーブルーム (アメリカ・南カリフォルニア)

レオン自動機株式会社

RHEON AUTOMATIC MACHINERY CO., LTD.

〒320-0071 栃木県宇都宮市野沢町2番地3

TEL.028-665-1111

<https://www.rheon.com/>

